

うぐいすだより

美祢市立桃木小学校
学校だより
平成24年度第10号
2月1日

かけがえのない個性

先日の雪の日に「最近、雪が降らないので今日は雪にしっかり触れさせてください」と話したところ、早速、中庭での雪遊びが始まりました。雪だるまやいすや滑り台など子ども達一人ひとりの個性あふれる力作に雪の日が心楽しいものになりました。自分の好きなことをする時は、時間を忘れてしまうのは大人も同じですが、学校教育の現場では、つけるべき学力や体力が中心となり一人ひとりの個性を大切にできる場面が限られます。



「個性を殺さず癖を生かす。人も木も、育て方は同じだ。」これは法隆寺昭和大改修に携わった宮大工棟梁 西岡常一さんの言葉です。大人は、ともすれば子どもの個性を伸ばすことより周りと比較することで子どもの行動を判断します。しかし、その子をよく知る親や教師こそが個性の生かし方を話し合っていくべきだと思います。

3学期は学習のまとめの時期であり、学習の手順も習得させたいと予習を取り入れた授業に取り組んでいますが、一人ひとりを伸びやかに育てるためにかけがえのない個性を大切にしていきたいと思っています。

来年度に向けて

教務主任 N. T

本校では現在、平成25年度の教育指導計画作成に取り組んでいるところです。

来年度の入学予定児童がいないため、1年と5年が欠学年で全校児童5名、2・3年と4・6年の複式2学級になる見込みです。2年生と3年生、4年生と6年生は、教科やその年間授業時間がかかなり異なるため、限られたスタッフの中でどのような指導体制を整えていくかが大きな課題です。この少人数で運動会や桃木小まつりといった大きな学校行事にどのように取り組んでいくべきかということも、来年度に向けての高いハードルになっています。

地域や保護者の方々に力強く支えられてきた桃木小学校ですが、これまでの慣例から脱して、思い切った取捨選択が迫られている状況です。小規模校では難しいこと、反対に小規模校だからこそできることをよく吟味して、来年度5名の子どもたちの力を最大限引き出せる指導計画を練っていきたいと思いますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ホーホケキョ

どんと焼きで発表した、みんなの「新年のちかい」を紹介するよ！

- ・じてんしゃにのれるように、れんしゅうをしっかりとる。(1年 R)
- ・かんじをいっぱいおぼえたい。けいさんまちがいをしない。(1年 Y)
- ・3年生になるのでわり算や新しいかん字をおぼえたい。(2年 A)
- ・水泳をがんばる。西嶋さんみたいにはやくおよげるようになりたい。(3年 N)
- ・なわとび大会をがんばる。カルスト漢字検定で100点をとる。(5年 S)
- ・小学校の勉強をしっかりと身につけて中学校でもがんばる。(6年 A)
- ・自分の意見をきちんと人に伝えて、中学校でもがんばる。(6年 M)

「初心忘れるべからず」だね。

ホーホケキョ